

平成25年度 安全重点施策の取り組み

1.安全管理体制の強化
<ul style="list-style-type: none"> ・社長、安全統括管理者の巡視による積極的な社員との意見交換実施 ・安全マネジメント教育の実施 ・内部監査および現場パトロールの実施 ・事故や災害を想定した訓練の実施 ・「ヒヤリ・事故の芽」活動による事故の芽の早期除去 ・事故分析能力の向上とリスク情報の分析・活用による事故の未然防止 ・事故・エラーの発生および風化防止への取り組み
2.走行中の列車の安全性向上
<ul style="list-style-type: none"> ・新型ATSシステムの構築 ・列車無線電話の更新および難聴対策 ・軌道・分岐器(ポイント)の改良 ・電車線の自動張力調整装置の設置
3.駅の安全性向上
<ul style="list-style-type: none"> ・ホーム異常通報装置の新設 ・ホーム改良工事の実施 ・ホーム足下灯のLED化
4.車両の安全性向上
<ul style="list-style-type: none"> ・衝突時の安全性などを向上した13000系車両の新造と6000系車両のリニューアル
5.踏切の安全性向上
<ul style="list-style-type: none"> ・全方向型踏切閃光灯、踏切支障報知装置などの設備設置 ・淀駅付近立体交差化工事による踏切数の削減 ・踏切監視カメラの増設
6.火災・自然災害対策の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・高架橋、駅、電気施設等の耐震補強 ・耐震化した変電所の新設 ・駅の防火防煙シャッター設置

平成26年度の安全重点施策の 取り組みテーマについて

平成26年度は、次の3つを安全重点施策の取り組みテーマとします。

今回、「職責の自覚、実行」、「事故・エラーの再発防止」、「コミュニケーション」について重点的に取り組むことで、より「質の高い安全」の実現を目指します。

1.鉄道従事員として、職責を自覚しかつ実行する
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道従事員として今一度原点に立ち返り、改めて自らの職責を確認し、行うべきこと、決められたことが本当になされているか、基本業務の総点検も併せて実施することで、質の高い安全を目指します。
2.事故・エラー等の再発防止策を再確認する
<ul style="list-style-type: none"> ・過去の重大事故等の再発防止策の再確認および事故・災害パネルの展示、事故・エラーカレンダー制作等の新たな活動を通じて、知見の風化を防止するとともに、事故の再発防止に努めます。
3.対話し声を聞くことで、相互の意思疎通を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・エラーを減らすには、社員間のコミュニケーションが重要であり、お互いに何を思い、何を考えているか、相互の意思疎通を図ることで風通しの良い職場風土を作り上げます。